

町田市議会議員・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

納税者主権の政治・リニア新幹線



町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-22

☎042-724-2127

2 期連続トップ当選

都市農業と農協のあり方

私が現実の「農協」を知ったのは、以外にも町田市に越してきた 37 歳の時でした。それは、今も住み続ける民間アパート（農協住宅）が、地元（農家）の所有で町田農協（当時、南農協）が管理している建物であったからです。周辺はほとんど戸建住宅ですが、一部にこうした民間アパートがあり、農家の市街化農地も点在しています。実際に、私が住むアパートからわずか、50m ほどの位置にも畑があり、近隣住民や幼稚園児のために、ジャガイモ掘りやサツマイモ掘りの行事を行う畑もあります。首都圏の居住環境としては、最良地区の一つでしょう。農業の形態とは言えないかもしれませんが、緑地維持の視点は市政の中でも欠かせないものと考えています。



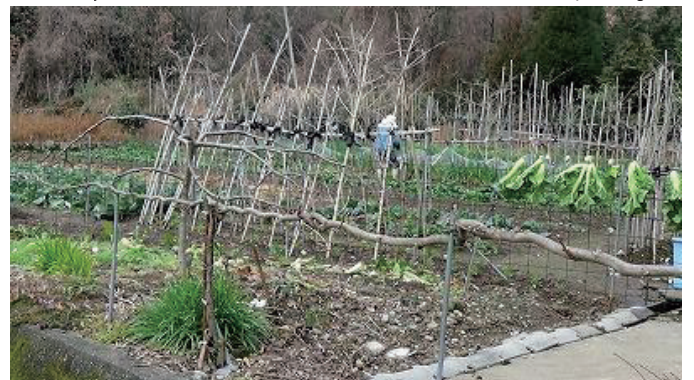
この農住住宅の一室に私が越してきた当時（30 年前）、「準組合員」の登録・負担をしないと入居できず、家賃の引き落しの銀行口座も農協が指定でした。その結果、自分の収入と支出のほとんどは町田農協となり、最もなじみやすい金融機関となりました。そうした意味では、国政で農協の存在が云々されても、郵便局同様に、形態を変えても身近な存在として存続するのではないのでしょうか。

意外な地方農業の生きる道

(来浦元気野菜主宰の藤原真由美さんの話)

政治的な活動の一環で大分県国東市を訪ねました。（議会の政務視察ではありません）地方の農村都市（現在の国東市）に、キャノンやソニー系の工場が進出しましたが、リーマンショック、派遣切り以降、多くの若い人が地域を離れていました。地元の皆さんが立てたアパートはガラ空き状態でした。国は地方創生を提唱し、地方で頑張る自治体を大きな財政的な支援で応援すると言っていますが、真に、地方のことを考えるなら、身の丈にあった循環経済にそった産業振興が図られるべきものだと思います。訪ねた政治家の友人の考えでは、地元在即した農林水産業を作っていくべきだとのことでした。自身では、キウイ栽培などをされていました。

また、「来浦元気野菜」（主宰：藤原真由美さん）は、近隣の高齢者女性が小規模に栽培し、自分で値付けした野菜を集荷し、直接地場スーパーに納め、専用コーナーで委託販売する事業をしておられました。年金受給者である皆さんに大好評で、地域でも参加者が増大中でした。こうした取り組みは、もっと別の地域でも広がるのではないのでしょうか。



★ 無所属で活動・市議会は保守連合 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E 103-13 吉田つとむ（市議会議員）

町田市議会議員・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

セミナー主催・インターンシップ主宰



楽しい社会体験プログラム



携帯QRコード
でブログ閲覧

研修レポート③ 鈴木 彩花



フェリス女学院大 鈴木 彩花 第 35 期生

町田市立南中学校を訪問しました。校長先生は、私の質問ひとつひとつに丁寧に答えてくださり、また話すときの注意点も教えてくださいました。感謝しています。

南中学校も他校と同様に家庭や小学校との連携を行っているとのことでした。よりよい教育を目指すために、互いの授業を参観し合い、意見交換をしているとおっしゃっていました。印象に残ったことを二点あげたいと思います。一点目は、授業参観についてです。授業参観日を設ける学校が大半だと思いますが、南中学校では保護者は限られた日程だけではなく、いつでも学校の授業を見ることができます。日程を限定しないことで、保護者も学校の教育に意見をしやすくなるのではないかと思います。二点目は、授業の合間の休み時間に職員室に戻る教師が少ないということです。授業が終わると、教師は教室に留まり質問に答えたり、生徒と交流をしているそうです。こうすることにより、生徒との距離を縮めやすくなると思いました。教師は子どもが好き。教えることが好き。それに加え、人を育てようとする意志が大切だと教えていただきました。今回の学校訪問は教職

について深く考えるよい機会となりました。

研修レポート⑪ 渡邊 慧

クトロヴァッツコンサートに、吉田議員(実行委員長)の秘書役として参加しました。この日のために何度も皆が打ち合わせを重ね、準備してきたことを知っていましたし、その様子を何度か拝見させていただくこともありましたが、しかし、いくら入念に準備してきたとはいえ、当日は予期せぬ事態が起こることは当然のことです。小さなことから大きなことまで、多くのアクシデントがありました。吉田議員とともに行動し、一つ一つに迅速に、臨機応変に行動するよう心がけました。表に立つことはなく、どちらかという裏方の仕事を中心でしたが、とても貴重な経験をすることができました。

何かを企画し、それを成功させるということは、地道に裏で働く人があってこそ成り立つものです。私は大学でゼミ長をしているので、代表として前に立つ仕事は多くあります。しかし、前に立ち、目立つ仕事のみするのではなく、代表だからこそ地道な仕事も進んでやらなければならないということを、再確認することができました。



フェリス女学院大 3 年 渡邊 慧 第 34 期生

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

Mail : yoshidaben@gmail.com mobile: yoshidaben@docomo.ne.jp